

ときめき人

Tokimeki bito



小さなきっかけで たくさんの人と つながる楽しさを

豊里町・下町

鈴木 珠実さん

すずき たまみ
1975年生まれ 血液型/A型

Profile

「手のひらサークルたねるべ」は、身の回りの生活の中から不思議を楽しむ「かがく講座」を開いたり、畑作業を通じて食育する「エディブルヤード」など、年間を通して活動しています。



一緒に活動し、楽しみたい人を随時募集しています。気になった方はご連絡ください。

Facebook
tanerube.tenohira@gmail.com

鈴木さんが代表を務める「手のひらサークルたねるべ」は、子育て世代の母親たちの「親子で楽しいことをしてみたい」という声がかきかけで発足した。登米町を拠点として、地域のおじいさん、おばあさん、さまざまな団体のみなさんに協力をいただきながら、活動を展開している。

地域の資源である「ひと」や「もの」を探し出し、もっと輝かせ、生かす。そこに暮らす人々をつなげていく。サークル名の「たねるべ」は宮城の方言である「たねる(探す)」をもとにした。

春はタケノコ、梅や桑の実、秋には柿や芋。味噌作りや干し柿作り。昔、それぞれの家庭で当たり前のように手に取り、続けていたこと。それらを伝承できる環境は少なくなっている。そこで、橋渡しに

なるべく、若い世代や子どもたちに知ってもらう活動を行うようになった。「手間はかかるが、子どもたちや若いママたちには新鮮に感じるようで、楽しんでもらえている」と代表の鈴木さんは話す。

昨年は、畑作業を通じて協力し合い一緒に食べる「エディブルヤードスクール」を開催。落花生や綿の栽培、夏野菜を育ててピザを作ったりもした。子どもたち中心のイベント「こども店長」や「ハロウィンパレード」、近所の農家さん中心の「収穫祭」イベントなども開催した。

小さなきっかけで、たくさんの人とつながれる楽しさを、多くの皆さんに知ってもらいたい。地域全体で子どもたちを育てていきたい。その思いの仲間たちが集っている。

編集後記

▼取材で幼い頃に通った幼稚園を訪問しました。卒園したくないと泣いてしまった日を懐かしく思います。春は出会いと別れの季節。私も4月から別の部署へ旅立つことになりました。短い間でしたが、いろいろな人にお世話になりました。皆さん、本当にありがとうございました。ごさいました。(大立目)

▼「市民の広場」と「ときめき人」の取材を担当しました。短期間での取材校正ができるのは、受け入れてくれる皆さんの優しさがあったからこそと感謝の念につきます。異動で広報の担当を離れますが、取材での学びを大切に、新しい道を歩んでいきます。(高橋)

▼別の部署へ異動になりました。広報を担当した4年間の間で学んだ数多くのことを生かせるよう、今後も仕事に取り組んでいきたいと思えます。また、協力してくれた人、支えてくれた人、読んでくれた人など、関係する多くの皆さんに感謝しています。本当にありがとうございます。(三浦)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

